

法人（事業所）理念

私たちは、【常に最新・最幸のサービスを創造、提供し続け、地域に根ざした企業活動を通じて、社会・経済に貢献する】企業を目指します。

支援方針

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が配置されており、療育の中にリハビリテーションを取り入れていきます。利用児を個別に評価して、家族支援、移行支援、関係機関連携を行い個々に合わせた適切な支援を行っています。

営業時間

9 時 0 分から 18 時 0 分まで

送迎実施の有無

あり なし

支援内容

健康・生活

<健康状態の維持・改善>・健康状態の把握と対応、リハビリテーションの実地
<生活習慣や生活リズムの形成>・摂食訓練・衣服の調整・自助具の活用
<基本的な生活スキルの獲得>・日常生活動作訓練・構造化等による生活環境の調整・医療的ケア児への適切なケアの実地

運動・感覚

<姿勢と運動・動作の基本的技能の向上>・姿勢調整、上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力・バランスの維持強化を図る。<姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用>個々に適した補助用具の活用や座位保持装置<身体能力の向上>・立位訓練、歩行、歩行器による移動訓練。<保有する感覚の活用>・感覚統合療法実施。<感覚の補及及び代手段の活用>・感覚に配慮した補助具の活用
<感覚の特性への対応>・感覚の状況に合わせた環境調整

認知・行動

<認知の特性についての理解と対応>・認知の特性を理解して適切に処理できるように支援。<空間・時間・数等の概念形成の習得>・感覚の活用や認知機能の発達。認知や行動の手がかりとなる概念の形成。数量、大小、色等の習得・知覚から行動への認知過程の発達。認知の偏りの対応。<行動障害への予防及び対応>・応用行動分析を用い、行動の理解と変容を支援。

本人支援

言語コミュニケーション

<コミュニケーションの基礎的能力の向上>・言語、非言語コミュニケーション能力をつける。構音訓練の実施<言語の受容と表出の支援>・言葉以外に文字や記号、絵、写真等を用いて理解と言語を受容して表出する支援。<言語の形成と活用>・具体的な事物や体験と言葉を結びつけて自発的な発声と、体系的な言語を身につける。<人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得>・人との相互作用を通して共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援。<コミュニケーションの選択と活用>・指差し、身振り、サイン等の活用・音声、文字等のコミュニケーション手段の活用・コミュニケーション機器の活用<状況に応じたコミュニケーション>・場や状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援。<読み書きの向上>・障害の特性に合わせた読み書き能力の向上

人間関係
社会性

<アタッチメント（愛着行動）の形成>・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援。<模倣行動の支援>遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。<感覚運動遊びから象徴遊びへの支援>感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、こっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会的な発達を支援する。<一人遊びから協同遊びを通して、徐々に社会的な発達を支援する。<自己の理解と行動コントロールのためから並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会的な発達を支援する。<自分の理解と行動コントロールのための支援>
<大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。<集団への参加への支援>集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援。SST実施。

家族支援

<アタッチメント（愛着）の形成>・子どもとの信頼関係を育み、家族や周囲との安定した関係性を形成。<家族からの相談に関する適切な助言>・子育て困りごとの相談援助・子どもとの関わり方の助言、提案。・保護者同士の交流機会の提供。（子育てカフェの開催）<障害の特性に配慮した家庭環境の整備>・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助。・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。ペアレントトレーニングの実施

移行支援

<園・学校への移行支援、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備>
・具体的な移行や将来的な移行を見据えた子どもの発達の評価と支援。
・移行先との支援方針、支援内容の共有や、子どもとの状態と親の意向、支援方法についての伝達。・家族への情報提供。・移行先の選択についての本人や家族への相談援助。

地域支援・地域連携

<通所することまにかかわる地域の関係者・関係機関と連携した支援>・子どもが通う園、通う予定の学校や在学中の学校、学童との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、個別支援計画書などの作成又は見直しに関する会議の開催。・こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所における連携。

職員の質の向上

提供する障害児通所支援の質の評価を行うことと、質の向上に努める。適切な支援を安定的に提供することともに、支援に関わる人材の知識と技術を高めるために、様々な研修の機会を確保する。日常的に職員同士が主体的に学び合えるように、職場内研修や外部研修、オンライン研修を積極的に取り入れる。

主な行事等

・祝日は地域に出かけて、地域で暮らす他の子どもとの交流や体験学習を行う。例（買い物実践、博物館、科学館、自然と触れ合う活動、地域の講師による作品作りなど）・季節ごとに壁面の制作。・会社全体で地域に向けてフェス開催。・子育てカフェ開催

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリセンターありんこキッズ (児童発達支援事業所)		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 2日		～ R8年3 月31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	R8年3 月 2日		～ R8年 3月31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの送迎サービスに対応している。	同じ園の児童は同時間の利用にすることで、園側の負担を軽減している。	送迎時に園の行事等を確認して保護者にも利用の確認をしている。
2	リハビリ専門職が配置されている。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が専門分野を生かしてアセスメントを行い、個々に適した支援を提供している。	各専門領域の研修案内を随時行い、各専門職が知識や実践を研鑽する。
3	生活空間は十分な広さがあるので、屋内で球技等もできる。	球技等を行っている時はネット柵や柔らかいボールを使っている。	球技を使う時は他児も誘い一斉にゲームを行うと空間を使って楽しめる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを利用する保護者との関わりが薄くなる。	保護者が就労等で送迎できない場合は当事業所を利用しやすい。	園や家庭の生活の様子を聞く時間を月に1回程度でお願いする。
2	民間事業所のため園や学校と連携する体制が弱い。	就学移行時や園での様子を聞いて連携の必要性を感じた時に連携する	児童発達支援管理責任者が中心となり積極的に担当者会議を行う。
3	広い運動スペースにトランポリンや揺れ遊具、ボルダリングがある。	ダイナミックな活動が重なる時がある。	スタッフ間で個々の活動内容を確認して、安全に活動できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリセンターありんこキッズ(児童発達支援事業所)					公表日	R8年4月1日		
					利用児童数	44		回収数	40
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	1			・(はい) 毎回は見に行けませんが送迎の際にはスペース確保されていると思う。 ・(はい) 活動スペースは十分だと思いました。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1		4	・(わからない) わかりません。	スタッフ一覧は保護者に配布しています。ご確認ください。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39			1	・(はい) 配慮されていると思います。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	39	1			・(はい) いつもキレイだと思う。 ・(はい) 子供がやってみたいと思える空間づくりになっている。 ・(はい) とても清潔でした。 ・(はい) 個室もあり、子供達に合わせた空間になっていると思います。			
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39			1	・(はい) 子どもの事をよく理解してくれ、効果的な支援を受けることができました。 ・(はい) 子供の事を考えてやってくれています。 ・(はい) すごく寄り添ってもらえて本当にありがたかったです。 ・(わからない) 今子に何が足りなくて、どういふ事をしたらいいのかわからない。専門性のある支援をしたなら、今日はこういう事をしたのでココが伸びてくと伝えて欲しい。	専門職のみ配置しています。専門性をさらに高めるために、研修等で支援の質を高めて参ります。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			5	・(はい) 合っていると思います。			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	39			1	・(はい) 子どもの事をよく理解してくれ、親でも気付かなかった特性に気付くことができました。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37			3	・(はい) 具体的に支援内容が設定されていました。 ・(はい) 必要に応じて園の先生との話し合いの場にも来ていただいております。 ・(わからない) 児童発達支援ガイドラインを拝見したことがありません。	児童発達支援ガイドラインは事業所にあります。いつでも提示できますので声をかけてください。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39			1	・(はい) 行われたと思います。			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1		8	・(はい) 工夫されていると思います。			
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	27	4	3	6				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	3			・(どちらともいえない) 覚えていないです。すみません。 ・(はい) 丁寧な説明がありました。			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39			1	・(はい) 丁寧な説明がありました。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	6	1	3	・(はい) LINEで発信がありました。	今後もペアレントトレーニング等の案内をしていきます。		

15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）面談にて、支援内容の確認を行っていた。 ・（はい）支援内容や様子を毎回連絡ファイルに記入して下さるため、日々の状況がよく把握できる。 ・（はい）月1回の面談で、事業所での子供の様子を知ることができ、安心できました。 	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	1			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）面談で日常生活の様子や変化を伝えると、子どもの成長を整理して丁寧にフィードバックして下さるため、適切な支援が行われていると感じます。 ・（はい）面談で専門的なこと、その他色々アドバイスをいただける。 ・（はい）月1回の面談で支援がありました。 ・ノートを通してやりとりさせてもらえて助かります。 	今後も保護者からの意向等を聞いて支援と一緒に考えていきます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40				<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）子供のことを理解し、その子にあった支援をして下さる。 ・（はい）安心して相談する事ができました。 	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	5	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・（いいえ）機会があればお願いしたいです。 	子育てカフェで保護者同士のつながりの場を定期的につけて案内をしています。ぜひご参加ください。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35			5	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）不安な事など相談し、すぐ対応してもらえました。 	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39			1	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）対応していただいています。 	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	3		9	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）LINEで発信がありました。 	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）対応していただいています。 	
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	4	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）対応していただいたと思います。 	訓練の様子はその都度ありんご専用LINEでお知らせします。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1		11	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）対応していただいたと思います。 	訓練の様子はその都度ありんご専用LINEでお知らせします。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	4		8	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）安全の確保が十分でした。 	
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2		8	<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）対応していただいています。 	
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40				<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）保育園とは異なり、ありんごでは自分だけを見てもらえる特別な時間になっており、安心でき、何より子どもが通所を楽しみにしている様子が伝わってきます。 ・（はい）通うにつれて慣れていき、楽しく安心する場所となりました。 ・（はい）ありんこの先生達、みんな明るく、やさしい先生ばかりで子供も安心して通っています。 	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40			<ul style="list-style-type: none"> ・ (はい) 保育園のことがイヤイヤで大変だった時からありんごさんのことだけは大きかったです。 ・ (はい) いつも楽しみに通所させていただいております。ありがとうございます。 ・ (はい) 毎週楽しみにしていました。 ・ (はい) 保育園とは異なり、ありんごでは自分だけを見てもらえる特別な時間になっており、安心でき、何より子どもが通所を楽しみにしている様子が伝わってきます。 ・ (はい) 担当の先生に会えるのを楽しみにしている。 ・ (はい) 毎週楽しみにしていました。 ・ (はい) とても楽しみにして、ありんごに行く日はルンルンです。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	40			<ul style="list-style-type: none"> ・ (はい) 母の不安な気持ちにも寄り添っていただき本当に心強いです。いつもありがとうございます。 ・ (はい) 心身ともに成長が見られ、通所できて本当に良かったと感謝しています。 ・ (はい) 1年間子どもの事について相談する事ができ、とても心強かったです。ありがとうございました。 ・ (はい) とても満足しています。 	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
リハビリセンターありんこキッズ (児童発達支援事業所)		R8年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・ (はい) 担当間で活動内容に合わせて部屋を使い分けている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・ (はい) 個別対応を主としている。	・ (はい) 休みが重なったり、体調不良の時には大変な時もある。 ・ (いいえ) 仕方ないですが、感染症がはやい職員がお休みすると、手が足りなくなります。他部署から応援が来てくれて助かっています。送迎があるので人手が足りない。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・ (はい) その都度職員から出た提案を考えるようにしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・ (はい) 年度末に一齐に実施。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・ (はい) 幹部とは年に1回管理者が意見をその都度検討。	・ (いいえ) 中々全員がそろってミーティングすることが難しいですが、あると良いのかなと思います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・ (はい) 中津川市福祉課に依頼している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・ (はい) その都度職員に研修案内と個別に声をかけている。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4				

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		・（いいえ）担当同士で情報を共有できるように努めていますが、ケース会議が合っても良いのかなと思います。全員そろっては難しいかもしれませんが。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			・（はい）フォーマルな検査や行動観察によりアセスメントしている。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			・（はい）行事や季節ごとの制作教材を入れ替えている。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・（いいえ）ベア活動の時等は担当間で打ち合わせをしている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			・（はい）日々記入している。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			・（はい）医療機関への報告書や園送迎時に情報共有する。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			・（はい）移行や終了時には園と会議を行い、支援を引き継いでいる。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・(はい) 就学後に支援内容の確認と情報共有している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		・(いいえ) 行事で地域の子どもと関わる
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・(いいえ) 就労している保護者が多く参加できる保護者が少ない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・(はい) 保護者参加の子育てカフェを開催している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・(はい) 適宜SNSを通じて情報を発信している。 ・(はい) LINEを活用している。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）会社の取り組みで夏フェスを開催して地域に呼びかけている。 ・（はい）会社のおまつりがある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）保護者へSNSを通じて伝えている。 ・（はい）研修で確認している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）おやつ等の提供に関して保護者を通じて情報を確認している。 ・（いいえ）家族に確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）保護者へSNSを通じて伝えている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・（はい）身体拘束を行っていない。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリセンターありんこキッズ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	リハビリ専門職が配置されている。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が専門分野を生かしてアセスメントを行い、個々に適した支援を提供している。	各専門領域の研修案内を随時行い、各専門職が知識や実践を研鑽する。
2	生活空間は十分な広さがあるので、屋内で球技等もできる。	球技等を行っている時はネット柵や柔らかいボールを使っている。	球技を使う時は他児も誘い一斉にゲームを行うと空間を使って楽しめる。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価を設置していない	保護者には評価していただいているが外部機関には依頼していない。	今後第三者機関を検討していく
2	広い運動スペースにトランポリンや揺れ遊具、ボルダリングがある。	ダイナミックな活動が重なる時がある。	スタッフ間で個々の活動内容を確認して、安全に活動できるようにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		リハビリセンターありんこキッズ(放課後等デイサービス)				公表日	R8年4月1日		
						利用児童数	52	回収数	45
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	3		1	・(どちらともいえない) 外でも活動できるといいなと思います。	屋外での活動や行事で地域に出かけて様々な体験を実施しています。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	2		5	・(わからない) いつも指導者の方々が忙しそうだなと思います。 ・(わからない) くわしくないので分かりません。	スタッフ一覧は保護者に配布しています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43			2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44			1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44			1	・(はい) ありんこがあるおかげで、何とか他での傷をいやせています。	ありがとうございます。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	1		1				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	44			1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	2		3				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	1						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	3		1	・(どちらともいえない) 指先(書くこと)へのトレーニングがもう少し多様であってほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。個に合わせた書くこと以外の手先の活動を取り入れていきます。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	4	8	17				
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	4		2				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	1						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	5	1	9	・(はい) なかなか参加できていません。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	44	1			・(はい) ノートにその日の出来事を書いてくれるのでありがたいです。 ・(はい) 私含めて色々ご相談させていただいて、とても助かっています。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	2			・(はい) 困っていることなど面談の時に直接相談できるので助かっています。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43			2				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	9	3	12	・(はい) 子育てカフェやイベントなど開催してくれている。 ・(はい) 水曜日仕事のため、参加することができず残念です。	今年度も子育てカフェなど保護者同士のつながりを作っていきます。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	3		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	1	1	・（はい）ノートや面談の時に話せるので助かっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	3		3	・（どちらともいえない）LINEに子どもの写真が載るのは、少し不安になりました。	LINEの写真は後ろ姿や顔を隠して個人が特定されないような配慮をしていますが、保護者が不安な場合は即時対応します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	7	1	8	・（どちらともいえない）自分のクラスで実施されたことが無いので何とも言えない。	訓練の様子はその都度ありんご専用LINEでお知らせします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	3	1	5	・（どちらともいえない）自分のクラスで実施されたことが無いので何とも言えない。	訓練の様子はその都度ありんご専用LINEでお知らせします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	2		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	3		10	・（わからない）これまで事故があった事が無い為。 ・（わからない）なったことがないので。	事故が発生した時は必ず保護者に連絡を入れて迅速に対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45				・（はい）ありんごが大好きです。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45					
	29	事業所の支援に満足していますか。	45				・（はい）とても満足しています！！	ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
リハビリセンターありんこキッズ（放課後等デイサービス）		R8年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・（いいえ）個別指導の時、同時間の児童が多いと部屋が足りずRoom 2を仕切ったりし部屋を作る。 ・（はい）個室・大部屋で分け内容に合わせた支援が行える環境設定が行える。	・（いいえ）利用時が多い時使える部屋が限られてしまう。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	・（いいえ）送迎する職員も必要な為、個別指導対象児をペアにしたりし指導している。 ・（はい）1対1人から複数人対複数人で支援を行える人員配置。 ・（はい）安全のためにも、もう少し余裕が欲しい。	・（いいえ）職員2人体制で取り組みたい子どもに対して1人しか対応できない事がある。 ・（はい）安全の為に、もう少し余裕がほしい。 ・（いいえ）欠員が出た際の人員補充に改善が必要。 ・（いいえ）ぎりぎりの人数なので、無理があると思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		・（いいえ）火災や不審者が来た時の避難場所の確保が難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		・（いいえ）やはり、小学生には机・椅子が小さすぎて姿勢が保てない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・（はい）個室・大部屋で分け内容に合わせた支援が行える環境設定が行える。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・（はい）評価表の配布及び記入を保護者に求めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		・（いいえ）それぞれの事務所ですでた意見要望について十分受け止められているか。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		・（いいえ）把握していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・（はい）共有の場と計画の見返しが行える環境となっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・（はい）もう少しじっくり話し合える時間が欲しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・（はい）直前・直後の打ち合わせや振り返りを適宜行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・（はい）記録の作成及び管理者からの指導を適宜行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・（はい）自己選択の場として通常の支援に加え施設外での療育等設けている。	・（はい）教材を支援員の物で揃っているのはよいのか。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・（はい）必要に応じて行える体制となっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・（はい）必要に応じて行える体制となっている。	・（はい）学校によって予定表を共有してくれないところがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・（はい）必要に応じて行える体制となっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・（はい）必要に応じて行える体制となっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・（はい）必要に応じて行える体制となっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・（はい）毎月1回以上の面談	・（はい）就労や家庭の都合で面談が中々できない方もいる。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・（いいえ）保護者の就労の為、ペアトレ等の実施が難しくなった。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・（はい）アセスメントシートや中間評価を活用する。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・（はい）適宜実施できる体制を整えており、希望の有無を保護者へ向け用紙を配布している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・（はい）子育てカフェ ・（はい）不定期開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・（はい）苦情・事故報告の対処とその報告を作成、周知をする体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・（はい）公式LINEの活用	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・（はい）マニュアル研修、防災訓練の開催	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・（はい）必要に応じ個別に対応マニュアルを作成。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・（はい）医師の診断を受けた保護者より、アセスメントシート、聞き取り等に対応。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				

中核機能強化事業所加算公表

期間 令和7年4月～令和8年3月

公表日: 令和8年4月

リハビリセンターありんこキッズ

担当 中山 さとみ

・市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保していること	令和8年2月	・中津川市自立支援協議会子ども支援部会出席 参加メンバーの確認 今後の部会の方向性を検討
	令和8年3月	・恵那市自立支援協議会こども部会出席 参加メンバーの確認 各機関の支援の現状について 今後の部会の方向性を検討
・専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制を確保していること	令和7年12月～ 令和8年2月まで 計6回開催	・家族支援としてペアレントトレーニング実施 参加者10名
	令和8年3月	・子育てカフェの開催 参加者4名 保護者同士で子育て等に関する話合い
・地域の障害児通所支援事業所との連携、インクルージョンの推進、早期の相談支援等の中核的な役割を果たす機能を有していること	令和8年3月	恵那・中津川相談通所支援ネットワーク会議の開催 事務局 令和8年度年間計画 恵那市と中津川市の児童発達支援、放課後等デイサービス利用時の規定について

相談支援加算公表

・要医療児者支援体制加算(Ⅰ)

下記の相談支援専門員は「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了し対象医療的ケア児に対して指定障害児相談支援を行っています。

氏名:原 ひろみ(相談支援専門員)

・精神障害者支援体制加算(Ⅰ)

下記の相談支援専門員は「うつ病医療連携技術研修」を修了し精神障害者に対して指定計画相談支援を行っています。

氏名:原 ひろみ(相談支援専門員)

・高次脳機能障がい支援体制加算(Ⅰ)

下記の相談支援専門員は「高次脳機能障害者養成に関する研修等」を修了し高次脳機能障害者に対して指定計画相談支援を行っています。

氏名:原 ひろみ(相談支援専門員)